

寺
ごよみ

十月

一日 ほつこり法座
三日 魚津報恩講
四日 経田・窪野報恩講
五日 行信講座
六日 東狐報恩講
八日 清掃奉仕
十日 東狐報恩講
十一日 東狐報恩講
十三日 板屋報恩講
一六日 法要準備
一七日 板屋報恩講
一八日 板屋報恩講
一九日 善巧寺報恩講
二〇日 善巧寺報恩講
二二日 上野報恩講
二五日 上野報恩講
二九日 飯野芦崎報恩講
三〇日 石田中新報恩講
三一日 石田中新報恩講

寺 報
善 巧
ぜん ぎょう

発 行

〒 938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765)65-0055
FAX (0765)65-0975
http://www.zengyou.net

報恩講
十月十九日
十月二十日

親鸞聖人のご法要



報恩講に本堂へご安置します（塗装が施された親鸞聖人像）

コロナ騒ぎになったのが四年前、ほつこり法座をはじめたのが六年前、本堂を修復したのが十二年前、お寺の音楽会を開催したのが十八年前、住職を継職したのが二十六年前、得度したのが三十四年前。

いつのまにやら子供も高校生と中学生になり、自分だけが時が止まっているような錯覚を起こします。これは七十才、八十才になつたとしても同じような気持ちになるのかもしれない。

歌手の二階堂和美さんの曲に「いつのまにやら現在（いま）でした」という歌があります。

気づいたような

気になつて

案外それも

的外れ

時は過ぎ

時は過ぎ

現在（いま）の

私がありました

いつのまにやら

お葬儀の折りに拝読している蓮如上人の「白骨の御文章」には、「この世の始中終、幻の如くなる一期なり」とあり、この世の始まりも途中も終わりも「幻のごとく」とお示しくださり、この世の儚さをこれでもかというほどに説かれていきます。そして最後に「阿弥陀仏を深くたのみまいらせて、念仏申すべきものなり」と締めくくられています。

自分の人生がどのようであったとしても、ただ念仏ひとつが私の救いであつたと多くの先人たちが口にしていきます。念仏ひとつとはどういうことなのか。私は何を求めどこに向かつているのか。私の救いとは何か。それを示してください。そのみあとをしたい、報恩講をつとめます。

雪山俊隆

永代祠堂会

今年の永代祠堂会は
一日、九日、十六日、
二十三日の計四座おつと
めしました。

初日は射水市覚円寺の
青木哲隆先生にはしま
り、高島康彦さん、藤島
秀恵先生（勝福寺）、神
子巧照さんよりご法話い
ただきました。最終日は
熱中症警戒アラートが出
ている最中、汗だくにな
りながら故人を偲びおつ
とめいたしました。



バザーコーナー



寺
ごよみ

十一
月

一日 ほっこり法座

三日 石田中新報恩講

五日 空華忌

六日 中陣報恩講

七日 中陣報恩講

一〇日 総代会

一三日 析沢報恩講

一四日 析沢報恩講

一五日 析沢報恩講

一六日 ほっこり法座

一七日 浦山新報恩講

一九日 出・滑川新報恩講

二〇日 浦山新報恩講

二一日 浦山新報恩講

二二日 浦山新報恩講

二六日 愛本新・中ノ口

二七日 愛本新・中ノ口

二八日 愛本新・中ノ口

寺
ごよみ

十二
月

一日 大橋報恩講

二日 ほっこり法座

三日 愛本新・中ノ口

四日 下村報恩講

五日 下村報恩講

六日 下村報恩講



いじむ盆おどり

八月一日

今年の盆おどりは少し早めの十一日に開催しました。昨今、土日に合わせているため年によっては早くなります。事前準備は九日にちようちんつりを行い、中高生、小学生が力を貸してくれたのでバーベキューのお楽しみを用意しました。盆おどり当日も中高生がお店のスタッフになり場を盛り上げてくれました。

この一年で葬儀のあった初盆にあたるご家庭と、納骨壇を対象にお参りました。

お盆参り

八月六日

「差別の根源は、衆生（しゅじょう）の橋慢心（きょうまんしん）にあり」とおっしゃったのが、おしゃかさま。わたしたちの思い



上がりの心が、世の中に多くの差別を生んでいるというわけです。

わたしたちは、それくらい思い上がっていないくては、安心して生きてはいられないんじゃないですか。もちろん、そんなこと、他人に言えたもんじゃないですが、心の奥底をさぐってみれば、それこそ、内心ひそかに、後生大事に、こんな煩惱をかかえ込んでいるわけです。ところがね、この驕慢心というヤツは、他人を傷つけたあげくに、なんと自分まで苦しめてしまうというおそろしい煩惱なんです。

（煩惱カルタ／雪山隆弘）



- 八日 下村報恩講
- 九日 下村報恩講
- 一二日 下立愛本報恩講
- 一三日 下立愛本報恩講
- 一五五 下立愛本報恩講
- 一六日 ほつこり法座
- 一七日 下立愛本報恩講
- 一八日 下立愛本報恩講
- 二〇日 内山報恩講
- 二二日 内山報恩講
- 二三日 音沢報恩講

一月一日

〇時 除夜の鐘
九時 年頭参り

ほんこさまの準備

・朱色のろうそく

・お花

・仏飯

・年会費（一万一千円）

・お布施（三ヶ寺分）

親鸞聖人のご法事はお慶びの気持ちで赤いろうそくを立てます。



報 恩 講

浄土真宗門徒にとって最も大切な親鸞聖人のご法事です。

十月十九日（土）

午後一時半 法要

十月二〇日（日）

午前十時 法要

午前十一時十分 琴演奏

午後一時半 法要

講師：浅野執持師（愛媛）

※二十日の昼食希望の方はお寺までご連絡ください。



報 恩 講 ～しんらんさまのご法事～

本年は浄土真宗が開かれて 800 年のメモリアルイヤーです。期間中は親鸞聖人像（昭和・平成時代）を本堂内陣にご安置しますのでぜひお参りください。戦後時代の親鸞聖人像（昭和・平成時代）は本堂内陣へ、境内に存する無量の親鸞聖人像前にはお花のお供えコーナーを設けます。



絵本法話

浅野執持先生
愛媛県・伊予市出身、正信弘法院講師、
本願寺長年務め、愛媛大学大学院（文学部）
修士、正信弘法院教授、
著書：親鸞の法門（正信閣 12）

ほつこり法座

十月一日午前十一時

満足のいく人生のごし方

奥野寛暢師（妙行寺）

十一月一日午前十一時

親鸞聖人のどこが好き？

雲林重正師（浄秀寺）

正信偈に学ぶ

十月五日午後一時半

天岸浄圓師

清掃奉仕

十月八日午前八時半

法要準備

十月十六日午前九時

空華忌

十一月五日午後一時

今年も行信教校より学生さんが参拝されます。

総代会

十一月十日午後三時

合祀墓と樹木葬

前回お知らせした合祀墓と2名用の納骨スペースは、庭の整備と合わせて間もなく完成します。

少し工事が遅れています。が十月中には整いますので、ご参拝の折りにご覧ください。

お申込みを開始しますので、見学希望の方はお寺までご連絡下さい。

【納骨】

骨壺のまま納めます

● 七年間

冥加金三十五万円

● 十三年間

冥加金四十万円

※いちスペース骨壺二つ分。延長は一年一万円。

【合祀墓】

納骨袋で納めます

● 一体 七万円

※納骨袋にお骨を移し替えてお墓に納めます。墓じまい等で複数体の場合はご相談下さい。

合 掌

本堂の納骨壇から五年を経て裏庭が整備され合祀墓が建立します。本堂は天候に左右されず参拝ができ、屋外はお寺へ連絡なしでもご自由に参拝できます。それぞれに合った場所を選んでもらえたらと思います。

※ ※ ※

去年から親鸞聖人のメモリアルイヤーに合わせ、全国の親鸞聖人像を集めています。その数が三千体突破したことを記念して卓上カレンダーを作りました。また、報恩講の折りに本堂へご安置する親鸞聖人像をモデルにしたので、いずれも報恩講の記念品として配布します。ご参拝心よりお待ちしております。

